

がんばってます！繊維学部

「週刊東洋経済」大学就職率ランキング：理系ベスト100（学部別）において、
信州大学繊維学部は5位！（平成22年10月16日号）

1～4位は薬学・保健医療・農学の学部なので、5位という順位は全国の理・工学系学部の中のトップです。繊維学部の学生が、就職活動時に高い評価を受けていることの証となりました。



1. 就職率が高い理由

繊維学部では繊維製品の開発を基軸として「工・理・医・農」など幅広い分野を学び、それらを融合した研究をしているため、研究・企画などの製品開発に対して即戦力型の人材を育成することができます。それとともに、教職員が一丸となって就職支援をしています。

2. 平成23年度卒業・修了学生の就職活動の状況

合同企業説明会をキャンパス内で開催しました。（主催：信州大学繊維学部・株式会社信州TLO）
第1回:2010年11月13日（参加者166名） 第2回:12月11日（196名） 第3回:2011年1月8日（178名）

参加いただいた企業：アイセロ化学、アツギ、イースタン、エスケー化研、小田ゴウセン、キッセイコムテック、キャタラー、クラレ、近藤紡績所、チッソ、三井化学東セロ、東レエンジニアリング、日精イー・エス・ビー機械、日東電工、ニフコ、日本モレックス、林テレンプ、富士電機ホールディングス、ミネベア、明成化学工業、NOK、岡本、小布施堂、オリオン機械、ショーワグローブ、新光電気工業、田中貴金属グループ、帝国ピストンリング、東海理化、東洋紡績、東リ、凸版印刷、名古屋製酪（スジャータ）、ニッケ（日本毛織）、日星電気、日東紡績、ニプロ、日本紡績検査協会、半田重工業、日野自動車、丸善食品工業、ミマキエンジニアリング、村田機械、村田製作所、メタウォーター、ルネサスエレクトロニクス、今仙電機製作所、オルガン針、共同カイテック、クラリアントジャパン、神戸製鋼所、コガネイ、シー・エス・イー、芝浦メカトロニクス、住江織物、千代田化工建設、帝人、電算、東海染工、東京計装、トヨタ自動車、長野計器、長野オートメーション、日揮プロジェクトサービス、日信工業、日本バイリーン、日立建機、富士通インターコネクトテクノロジーズ、三菱自動車工業、三ツ星ベルト、メイコー、横浜ゴム、リンテック、ルビコン

お知らせ

平成24年度入試から系・課程の枠組みを変更します

教育研究分野をわかりやすく・志望先を選びやすく・教育内容の充実のため！

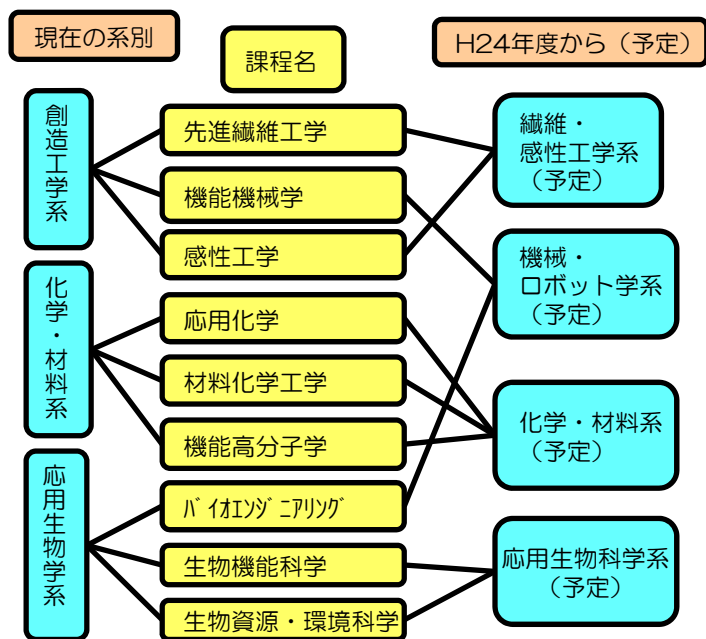
繊維学部の多彩な教育研究分野をわかりやすく、受験生が志望先を選びやすく、各分野における教育をより充実させるために、平成24年度から、系が4系に再編されます。

予定

大学院は平成24年度から「繊維・感性工学」「機械・ロボット学」「化学・材料」「応用生物科学」4専攻への改組を計画しています。

就職にも強い理由、もう一つ
国際的に活躍できる技術者・研究者を養成するために、英語教育に力を入れています

自身の英語力をTOEIC試験を利用して、常に把握し（1，2年生は年2回の受験が必須です。）、e-learningを活用して授業外の時間も自主的に学習できる環境を提供しています。学生一人一人の試験結果を教員が分析し、きめ細かくフォローをしています。年々1年生のTOEIC試験得点が高くなっています。



もうすぐ完成！ 国際先進ファイバー工学教育研究拠点 ファイバーイノベーション・インキュベーター (Fii) 施設

Fiiは製品開発・人材育成の強力な拠点になります

- ・充実した共同利用スペース
- ・素材開発から製品化まで一貫したサンプルレベルの製造が可能です
- ・大学設備の優先利用ができます
- ・調査研究やプロジェクト獲得に協力します
- ・大学と連携したりリカレント教育ができます
- ・企業マインドを持つ人材を育成します
- ・最新の情報提供およびビジネスフォーメーション支援を行います

卒業生・保護者をはじめ、たくさんの方々から、国際先進ファイバー工学教育研究拠点基金の創設にご寄付いただき、心より感謝申し上げます。基金以外にも設備機器として、

- ・豊田自動織機から最新鋭エアジェット織機
- ・韓国TOPTEC社からナノファイバー大量生産システムプラントが寄贈予定となっております。

繊維学部国際連携

平成22年度に新しく連携協定を結んだ機関

CTT Group (カナダ)

SAMSUNG Electro-Mechanics (韓国)

CTT Groupは、カナダの中核的な繊維技術センターです。

現在、40の連携協定機関との間で、研究協力や交換留学を行っています。今年度も1月からフランスのENSAIT（国立繊維工芸工業高等学院）へ1名留学しています。

また、アメリカ、ヨーロッパ、アジア、日本を代表する繊維系4大学間でグローバルセンター設置にかかわる覚書を締結しました。ノースカロライナ州立大学（米）、マンチェスター大学（英）、香港理工大学（中）との間で、相互に連携拠点となる部屋を置いています。



ファイバー工学を世界的な視点で先導する
産学官連携教育研究施設



2010年7月17日の調印式

植物工場プロジェクトと次世代アグリテクノ研究会

経済産業省「先進植物工場施設整備費補助金」により全国8拠点の一つとして、本年3月に「信州大学先進植物工場研究センター」が繊維学部整備されます。合わせて「コンテナ植物工場」が設置、先進的野菜栽培システムの研究開発がスタートします。

植物工場は異常気象や深刻な農業問題を背景に、今、第3次ブームを迎え、国内外でも注目されています。植物工場とは（半）閉鎖施設内で環境制御し野菜を周年栽培する施設です。同センターでは、コンテナ植物工場の遠隔操作とともに、植物工場の技術開発や野菜栽培システム開発が進められ、2階のレンタルラボは農商工連携の場としても大いに期待されています。

平成22年9月から、「次世代アグリテクノ研究会（長野県テクノ財団主催、繊維学部共催）」を開催、「植物工場を取り巻く関連技術開発と課題」をテーマに毎回、長野県内外から多数の企業が参加し、著名な研究者による講演と植物工場事業紹介を行なっています。

（文責：生物機能科学課程 教授 野末雅之）



ほぼ完成した先進植物工場研究センター

お知らせ

Fii施設および先進植物工場研究センター開所式・祝賀会

期日：平成23年6月4日（土） 場所：繊維学部内において



祝 繊維学部創立100周年

平成22年10月22日の記念植樹・日時計除幕式に始まり、24日のホームカミングデーまで、繊維学部創立100周年記念行事を盛大かつなごやかに開催しました。10月23日（土）の記念式典（上田市文化センター）では、約600名の参加者のもと、ご来賓に西岡武夫参議院議長をはじめとした約20名の方々にご臨席いただきました。

記念講演会として、23日に坂元龍三東洋紡社長、安保正一大阪府立大学副学長、24日に小泉勝夫元シルク博物館部長（以上三氏は本学部卒業生）と本学部特任教授の梶原莞爾氏の講演がありました。講演では、ご自身の学生時代の生活や研究を振り返りながら、学生など若い研究者に対して「国際的な視野を持って研究して欲しい」とのエールをいただきました。

澤路名誉教授の日時計 （正門東側）

澤路雅夫信州大学名誉教授から、石造の半円筒型日時計が寄贈されました。

季節ごとの調整を行って、細かく時間を測れる精密なものです。



（写真 左：澤路名誉教授、
右：濱田学部長）

講堂を飾った菊は、事務部・ 加藤運転士の丹精のたまもの

大輪の菊約50鉢は、4月に差し芽をしてから半年間の手入れによって、10月下旬に見事に咲きそろいました。100周年記念催事終了後も構内の建物を彩りました。



信毎広告賞受賞！

平成22年4月23日（金）付け信濃毎日新聞（朝刊）に掲載しました創立100周年広告が、第39回信毎広告賞（信濃毎日新聞社主催）の準優秀賞に選定されました。



正門のケヤキで作った机

正門のケヤキは平成21年夏に老齢のために、旧生協東のヒマヤ杉はFii棟工事のために伐採しました。この木材を使って、椅子や机を作り、学部長室や学生のいこいの場で使っています。



「信州大学繊維学部卒業生50周年行事（学8回生）」の寄付金で、全講義室に電波時計を設置いたしました（計27台）

設置された時計と
西松教務委員長



100周年の記念品は、大学産シルクコースター

農場で育てた蚕の繭を使い、製糸・染色後、教員が絵柄をデザインして、技術部がレピア織機（ジャカード織機）で製作しました。

養蚕：附属農場

製糸：（株）宮坂製糸所

染色：群馬県繊維工業試験場

デザイン：感性工学課程 吉良康宏教授

製織・仕上げ：繊維教育実験実習工場



繊維学部を卒業後、50周年を迎えた方々よりご寄付いただいているので、「ぜひ後輩である在学生、将来入学してくる学生のために」と、繊維学部教務委員会で用途を検討させていただきました。

年が明け、学生も寒空の下元気に登校し、勉学に励んでいます。多くの先輩の想いが詰まった電波時計は、後輩のそんな姿を見守り、しっかりと時を刻んでいます。

学生の活躍

大学院工学系研究科繊維システム工学専攻 深川直哉さんが、日本繊維機械学会北陸支部研究発表会 優秀発表賞を受賞

平成22年12月10日に福井大学で開催された日本繊維機械学会北陸支部研究発表会において、深川直哉さんが優秀発表賞を受賞しました。

本研究は、異繊維長、異繊維長の粗糸を用いた三層構造複合紡績糸を作製し、糸の構造制御をおこなう際の紡績条件について明らかにしている点が高く評価されました。



深川直哉さん

大学院工学系研究科感性工学専攻 田川ゆうほさんが、第43回照明学会全国大会において優秀ポスター発表者賞を受賞

平成22年9月7日～8日に大阪市立大学で開催された第43回照明学会全国大会において、田川ゆうほさんが優秀ポスター発表者賞を受賞しました。この賞はポスター発表者76件の中から特に優れた発表を行った10名の学生に対して授与されたものです。

受賞の対象となった発表内容は「光源の違いによる物体の明るさ感に関する研究」で、LED照明と従来照明との比較から、光源のZ値と色温度が明るさ感に影響を与えることを明らかにしました。



授賞式の様子（左から3人目が田川ゆうほさん）

工学系研究科機能機械学専攻 渡邊圭さんが、The 7th China International Silk Conferenceにおいてポスター発表優秀賞を受賞

平成22年9月10日～12日に中国の蘇州（蘇州大学）で開催されたThe 7th China International Silk Conferenceにおいて、渡邊圭さんが最優秀ポスター発表賞を受賞しました。この賞はポスター発表者約200件の中から特に優れた発表を行った者に対して授与されるものです。

受賞対象となった研究内容は、溶液エレクトロスピニング法によるポリプロピレン（以下PP）ナノファイバーの作製と、さらに溶媒が繊維に与える影響についての調査で、この製法によるPPナノファイバーの作製は、これまで不可能とされていました。



渡邊圭さん（左側写真右端）と表彰状

今後のお知らせ

3月24日	卒業式・大学院修了式
4月 4日	入学式（保護者説明会）
5～6月	入試結果説明会 →
6月 4日	Fii・先進植物工場開所式
7月31日	第1回オープンキャンパス（予定）
8月 6～ 7日	科学の祭典
9月15～17日	第6回先端繊維国際会議
9月15～16日	第2回アジア防護服会議
9月 8～ 9日	機器・分析技術研究会 会場：信州大学工学キャンパス 技術部
10月23～24日	東雲祭、ホームカミングデー、 第2回オープンキャンパス（予定）

平成22年度に初めて「入試結果説明会」を、県下4会場で実施しました。
計51校67名の高校の先生方がご参加くださり、繊維学部についての理解を深めていただきました。

この入試説明会以外に、

- ・オープンキャンパスで保護者向け説明会を開く
- ・県内だけでなく、関東・東海を中心に県外の高校や高専を訪問して繊維学部への進学をPR
- ・高校単位での大学見学や、大学教員が高校へ出向いての模擬講義などの広報活動をしています。